

共同研究報告書

平成23年4月27日

国立天文台長 殿

所属・職名 國學院大學 大学院特別研究員

氏 名 渡辺 瑞穂子 

研究期間	平成 22 年 4 月 1 日 ~ 23 年 3 月 31 日
研究場所	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台
共同研究者 氏名・所属等	相馬 充・光赤外研究部 助教 谷川 清隆・特別客員研究員
研究テーマ	七世紀の天文学と『日本書紀』
研究概要	『日本書紀』の七世紀の東アジア交流関連記事について 国別と音韻区分から分類することで、天文に関する渡来と受容の対応関係を比較する。 元嘉暦、儀鳳暦の勉強会を行い、持統紀の日食予測の暦法予想を確認する。
研究成果	・発表 「『日本書紀』の天文と宗教の関係について」 (天文学史研究会、平成23年1月15日) ・論文 「皇極紀と識緯思想-童謡おひさまについて-」『東アジアの思想と文化 第3号』(平成22年) 「七世紀の日本書紀の巻分類の事例Ⅰ」『国立天文台報第13巻、3・4号』(平成22年) (谷川清隆氏共著) 「『日本書紀』の天文と宗教の関係について」『第4回天文学史研究会集録』(平成23年) (谷川清隆氏共著) 「『日本書紀』の地天泰分類について」『第4回天文学史研究会集録』(平成23年) (谷川清隆氏共著)
その他参考 となる事項 (希望事項も含む)	